

三遠南信地域連携ビジョンの 実現に向けて

三遠南信 紀行

Vol.5

道

独自の文化・物流を生んだ天竜川・豊川水系や塩の道に代表される歴史ある街道に代わり三地域の夢をつなぐ自動車道へ。

三遠南信地域の発展を目指す地域連携ビジョンのひとつ「道」をテーマにした基本方針では、三地域を結ぶ三遠南信自動車道の整備が最重要施策となっています。この地域は古くから天竜川・豊川水系を中心に、塩の道や信仰の道として知られる秋葉街道をはじめ、別所街道、三州街道など多くの街道を通して、人や物が活発に往来し独自の文化が生まれた地域でもあります。愛知・静岡・長野の三県に分かれて、次第に疎遠となったこの地域を再び一体化したエリアとして、県境を越えた連携強化をするための大きなプロジェクトのひとつが三遠南信自動車道です。

中央自動車道と第二東名・東名高速道路を結ぶ
地域間の交流と発展を担う幹線道路の整備・調査が進行中。

三遠南信自動車道は、北は中央自動車道（長野県飯田市山本）から、南は第二東名・東名高速道路（静岡県浜松市三ヶ日町）までの延べ約100kmに及び、地域間の移動時間が大幅に短縮される（現在約4時間→将来約2時間）と言われています。その効果として、三地域の連携が強化され産業・経済の活発化や災害時の緊急輸送ルートの確保、過疎化が進む北遠・奥三河エリアにおける救急医療や福祉体制への支援強化の実現が大いに期待されています。

三遠南信
(さんえんなんしん)とは、愛知県
東三河地方、静岡県遠州地方、長野県
南信州地方を統合する名称で、
また、そのエリアのことです。
古くからつながりの深かったこの三遠南信
の将来ビジョンである5つのテーマ
(技、住、山、風土、道)をシリーズで
ご紹介していきます。

凡	例
三遠南信道路 (区間表示)	
供用区間	事業中区間
開通区間 (平成20年)	
調査中区間	
高速道路	
高速道路 (整備計画区間)	
一般国道	

※上記の図は、平成20年12月1日現在の状況を表示しています。

※上記の地図はイラストのため実際の位置と異なる場合があります。

私達は三遠南信地域連携ビジョンに協力しています。



静岡文化芸術大学



豊橋技術科学大学

愛知大学
AICHI UNIVERSITY

蒲郡全景

東三河エリア
東三河では、浜松市と接する2カ所で三遠南信自動車道の整備調査が進められています。三遠道路「引佐JCT（仮称）〜鳳来I.C.（仮称）」の新城市側では全面工事を展開中。もう一つの鳳来I.C.（仮称）〜東栄I.C.（仮称）区間では、調査及び設計の段階へと移っています。また、東三河南部（沿岸部）では、名古屋と豊橋市を結ぶ延長73kmの大規模バイパス（一般国道23号名豊道路）を事業展開中で、昨年最後まで残っていた蒲郡バイパスの東部区間が事業化されたため、早期の全面供用の期待が高まっています。この名豊道路は高規格幹線道路（東名高速道路）と並行して整備中



鳳来ICランプ橋

企画・制作／中日新聞広告局

三地域の夢をつなぐ三遠南信自動車道と
名豊道路（地域高規格道路）を平行して整備中

東三河エリア

東三河では、浜松市と接する2カ所で三遠南信自動車道の整備調査が進められています。三遠道路「引佐JCT（仮称）〜鳳来I.C.（仮称）」の新城市側では全面工事を展開中。もう一つの鳳来I.C.（仮称）〜東栄I.C.（仮称）区間では、調査及び設計の段階へと移っています。また、東三河南部（沿岸部）では、名古屋と豊橋市を結ぶ延長73kmの大規模バイパス（一般国道23号名豊道路）を事業展開中で、昨年最後まで残っていた蒲郡バイパスの東部区間が事業化されたため、早期の全面供用の期待が高まっています。この名豊道路は高規格幹線道路（東名高速道路）と並行して整備中



開通式のイベント

南信州エリア
おける三遠南信自動車道整備では、平成20年4月13日（日）に飯橋道路の1工区「飯田山本I.C.〜天龍峡I.C.（延長7.2km）」が開通しました。この開通により、中央自動車道を經由して名古屋圏や長野県北中部からのアクセスが容易となり、地域が誇る景勝地「天龍峡」をより広範囲の地域にアピールできるようになりました。天龍峡を船でめぐると、天竜川ライン下りや天然ラドン温泉が湧き出る天龍峡温泉、温泉街の東に広がるリンゴ狩りが楽しめる南信州随のりんご園など、開通後は通行料が無料ということもあって、例年以上の盛況が見込まれています。このように、自動車道の整備が進むごとに人の往来や物流が活発化され、観光や産業に好影響をもたらすことが予想され、早期の全面開通が望まれています。



開通式風景

南信州屈指の観光地「天龍峡」が
中央自動車道とつながり好アクセスに

利便性や救急医療の面でも大きな貢献が期待されています。現在三遠道路区間ではトンネルや橋梁、高架部分の整備が着々と進行しており、引佐間道路では平成17年度よりひき続き用地確保の事業を展開するなど地域住民の期待に応えるよう三遠南信自動車道の整備事業を推進中です。



引佐JCT（仮称）

三遠南信自動車道の整備区間の中でも浜松市の占める割合は高く、全区間内の6割以上の整備を担っています。引佐JCT（仮称）から東栄I.C.（仮称）に至る三遠道路（21km）をはじめ、奥三河と北遠地域を結ぶ佐久間道路（東栄I.C.〜佐久間I.C.間6.9km）、通行不可能になっていた国道152号の代替路として期待されている青崩峠道路（13km）など、厳しい地形の中に道路が通る中山間部を多く含んでいます。自動車道の完成による山間部と都市部との所要時間の短縮は、物流面で大きな成果が予想され、三地域内での活発な交流や新たなビジネスチャンスに発展する可能性も秘めています。車による生活の



三遠トンネル引佐側坑口

山間部と都市部との時間短縮をめざして
トンネル・橋梁・高架工事が着々と進行中

遠州エリア